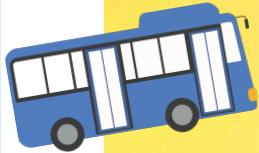


2025年度

三大学シンポジウム
IN 三重大学地域の生活構造の変容から
考える地域創生
～人文社会科学の批判的
かつ建設的視点～2026年2月13日(金)
13:00～17:00

場所

三重大学人文学部校舎3階 大講義室

(三重県津市栗真町屋町1577)

※駐車場がございませんので会場へのご来場に際しては公共交通機関をご利用くださるようお願い申し上げます

対象

一般、行政関係者、大学教職員・学生

※行政関係者、大学教職員・学生は、オンライン参加可

申込み

期限：2026年1月30日(金)

お申し込みはこちら ➔



高齢化・人口減少といった人口構造の変化、医療・交通・買い物といった社会基盤の脆弱化、そして地域の雇用の弱化を招く産業構造の転換など、地域の市民生活を取り巻く社会構造は急速に変化してきています。人文社会科学は、地域社会の構造と、そこに暮らす人々の生活に関心をおく分野です。人文社会科学は、急速な変化のなかで地域社会が直面している諸課題と、こうした社会構造の変化に適応する地域人たちの営みに関心を向けてきました。本シンポジウムでは、こうした社会構造の変化に対する地域の適応のプロセスに焦点を当て、そこから地域社会が持つ課題と強み、そして未来への示唆を考えたいと思います。

入場無料

要申込

定員200名

プログラム

詳細はこちら

13:00 開会挨拶



三重大学理事 金子 聰 教授

(研究・社会連携/グローバル化担当)

13:15 第1部

三大学からの研究活動報告と話題提供

弘前大学人文社会科学部 李 永俊 教授

「地域未来創生センターの挑戦：
人口減少とウェルビーイングに向き合う研究と社会実装」

三重大学人文学部 安食 和宏 教授

「世界遺産・熊野古道と三重県東紀州地域の関係性について」

島根大学法文学部 藤本 晴久 准教授

「地方・農山村における経済構造の変容と資源循環型産業の
展開—課題に直面する地域 の適応プロセスと可能性—」

15:15 第2部

シンポジウム

司会 三重大学人文学部 学部長 豊福 裕二 教授

三重大学人文学部 安食 和宏 教授

弘前大学人文社会科学部 学部長 飯島 裕胤 教授

島根大学法文学部 学部長 浅田 健太郎 教授

伊賀市 市長 稲森 稔尚 氏

三重県 政策企画部長 長崎 祐和 氏

17:00 閉会

主催：三重大学人文学部 (HP:<https://www.human.mie-u.ac.jp/>)

お問い合わせ先

三重大学人文学部法律経済学科教授 深井 英喜

Mail:fukai@human.mie-u.ac.jp

